

むかわ町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

むかわ町は、南北に長く鷓川地区と穂別地区の2つの市街地が存在し、さらに小さな集落が郊外に点在する構造となっている。
過疎化の進行による人口減は顕著で、また道路網の整備により自動車中心のライフスタイルが定着、バス利用者は減少傾向にあり経営的に厳しい状況が続いている。
高齢化の進展に伴い、交通事故未然防止の観点から自動車運転免許証を自主返納する方が増加していることや買い物や通院等での利用、児童生徒の通学利用など交通弱者に配慮した生活交通手段の確保・維持が必要であり、地域間交通ネットワークと接続することによって利便性を向上させバス利用者のニーズに応えることが求められている。

地域公共交通の現況

- JR日高本線（鷓川駅、浜田浦駅）
- 道南バス(株)（町内1路線、日高沿岸3路線、高速バス1路線、ほか2路線）
- あつまバス(株)（町内1路線）
- 町営バス（町内10路線）

生活交通確保維持改善計画の目標

- 目標
 - 穂別地区デマンドバス年間利用者数(4路線合計) 15,000人
穂別稲里線、キウス隆農線、穂別富内線、穂別栄線
 - 鷓川地区コミュニティバスの年間利用者数(2路線合計) 5,000人
鷓川川西線、鷓川川東線

協議会開催状況

- 令和3年6月23日 第1回協議会(書面)を開催
主な協議事項 ・令和3年度協議会事業計画・予算
・令和4年度生活交通確保維持改善計画(案)
- 令和3年8月13日 第2回協議会(書面)を開催
主な協議事項 ・令和3年度事業計画の変更
・令和3年度事業計画の変更に伴う予算執行
- 令和4年1月18日 第3回協議会を開催
主な協議事項 ・令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

令和3年度事業概要

むかわ町デマンドバス運行事業(穂別地区)及びコミュニティバス運行事業(鷓川地区)

- 運行ルート 穂別稲里線・キウス隆農線・穂別富内線・穂別栄線・鷓川川西線・鷓川川東線
- 運行本数 平日6系統51便、土・祝祭日6系統38便、日曜日6系統34便、学校長期休校日2系統6便
- 運賃 町内200円(高校生以下無料)、障がい者100円、65歳以上100円
1日フリー(障がい者200円、65歳以上200円、その他400円(高校生以下無料))
- 運行事業者 むかわ町

令和3年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

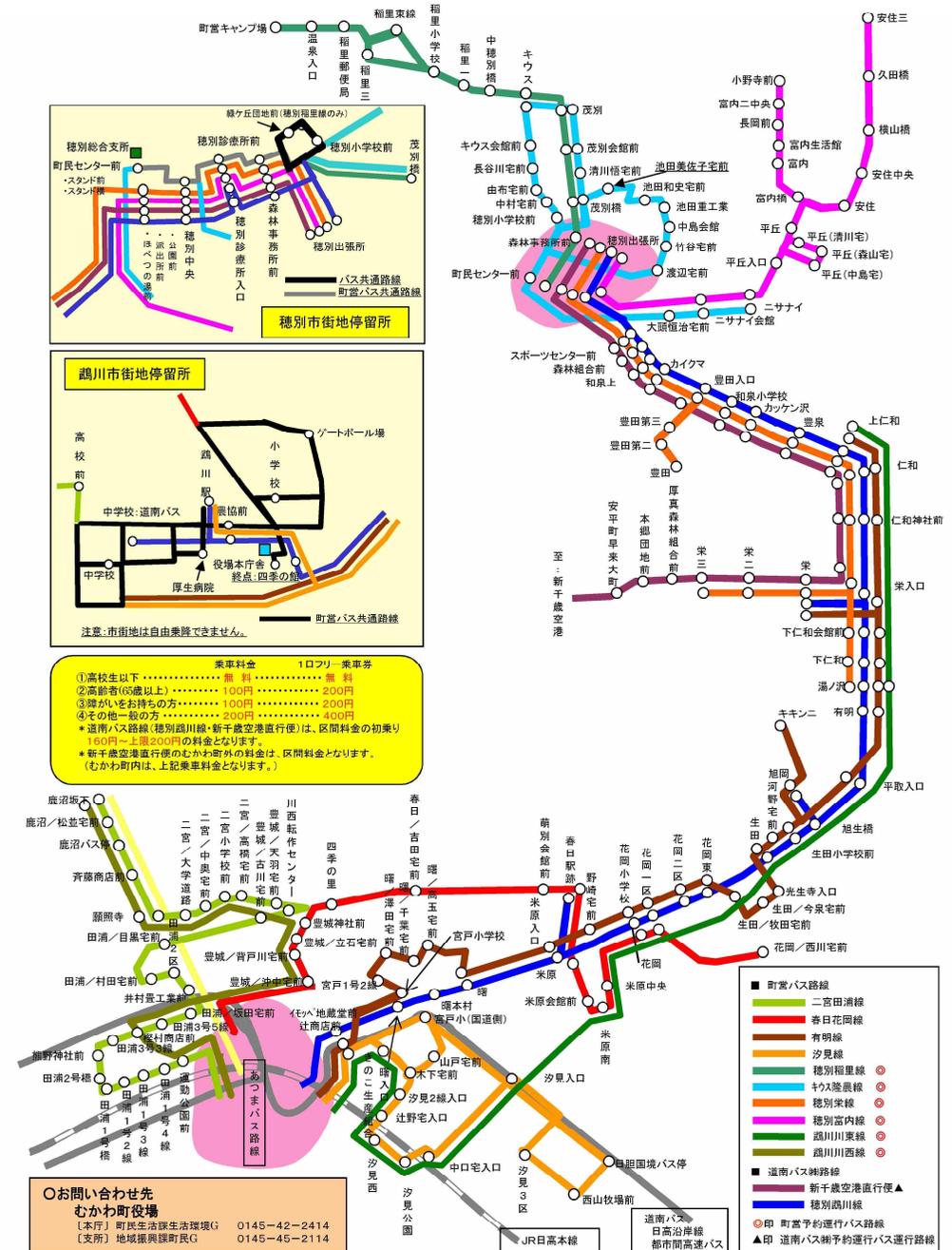
- 新型コロナウイルス感染防止対策として、座席等の消毒を施し注意を払っている。
- むかわ町を訪れる観光客(一般利用者)へ、鶴川市街や穂別市街から郊外へ行くバスダイヤ等のアナウンスを行った。
- 広報誌・情報端末等により、路線・ダイヤの情報から詳細な利用方法の周知を行っている。
- 町主催等の各種イベントや会合等の時間設定をする場合、バスダイヤを意識した設定となるよう協力を得ている。
- バス事業者路線と町営バス路線が、デマンドバス・コミュニティバス運行を効率的に運行できるための路線及びダイヤの一体的な調整を行っている。
- 路線バス(事業者路線・町営バス路線)とスクールバス混乗便の路線・ダイヤを一体的に配置し効率化を図っている。
- 臨時便や増便などにより、予約者のニーズに応える運行を行っている。

* 本町のデマンドバスは、路線とダイヤを定めて予約があった場合に運行している。利用者の庭先までは入っていないことから、通称「予約運行バス」と呼んでいる。

2) 運行系統

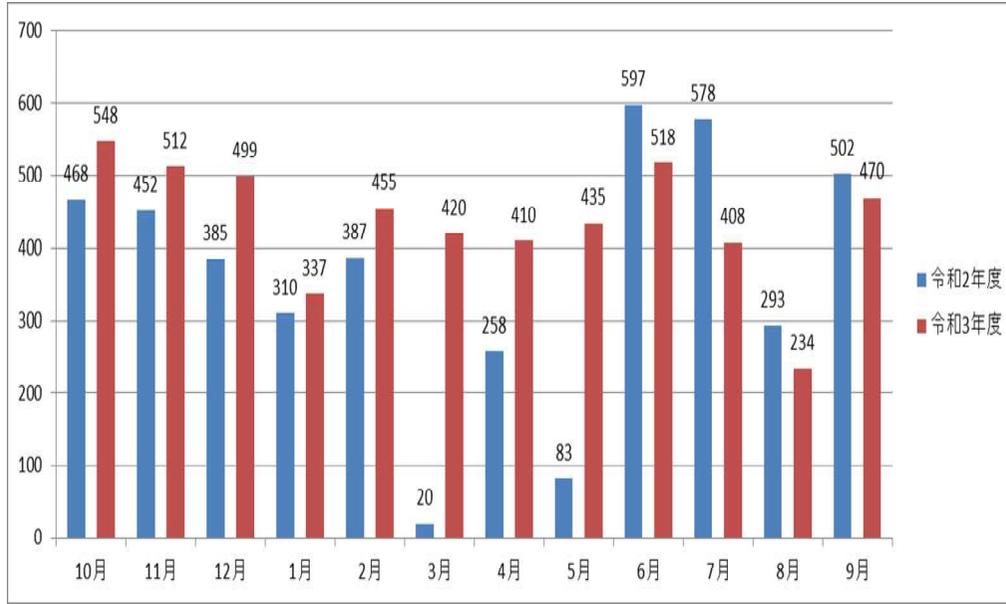
むかわ町バス路線図

【令和3年4月1日改正】

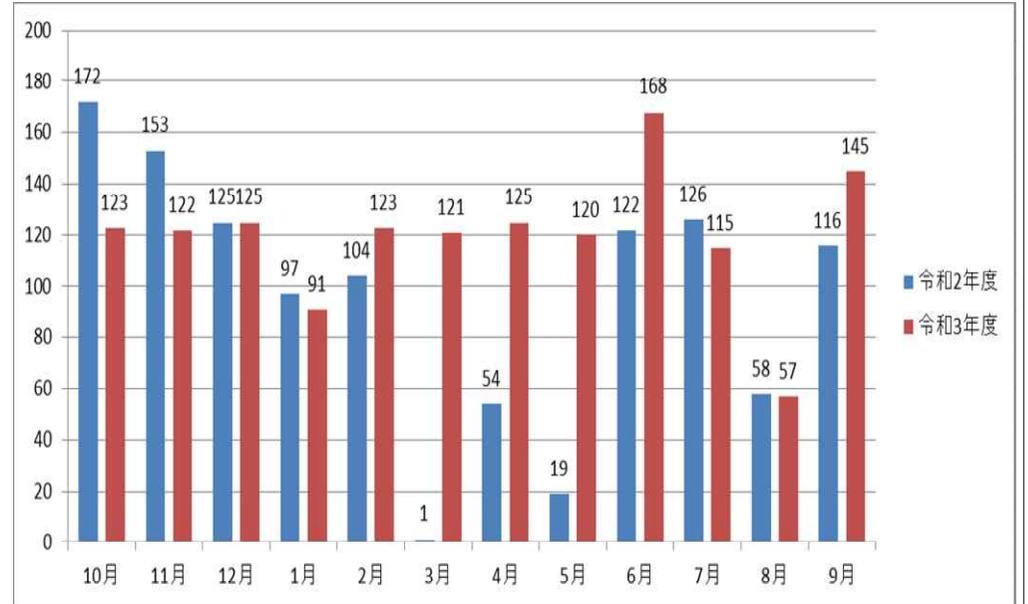


3) 利用実績(人)

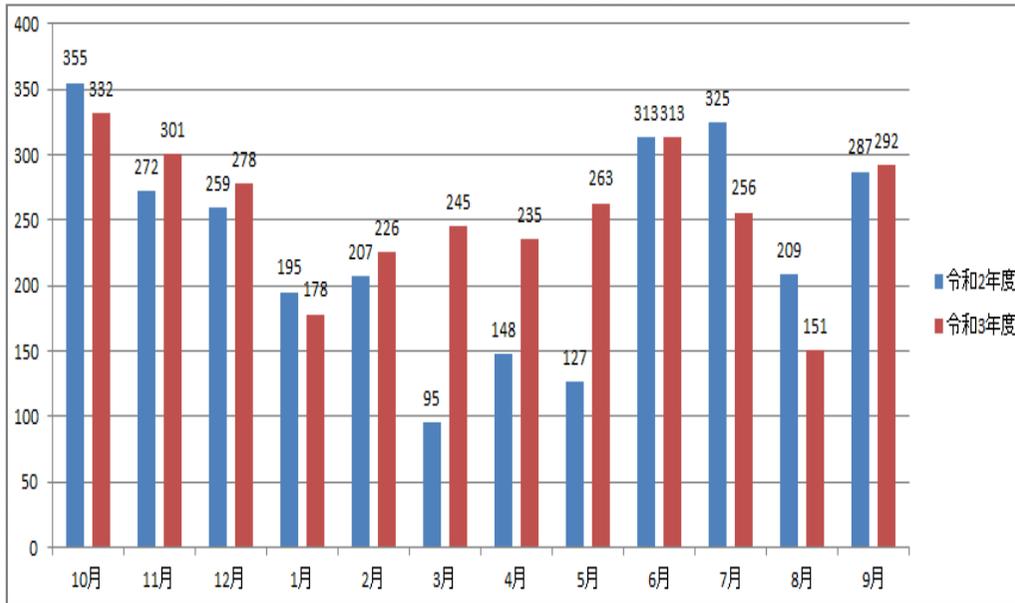
①穂別稻里線(令和3年度5,246人／令和2年度4,333人 対前年+913人)



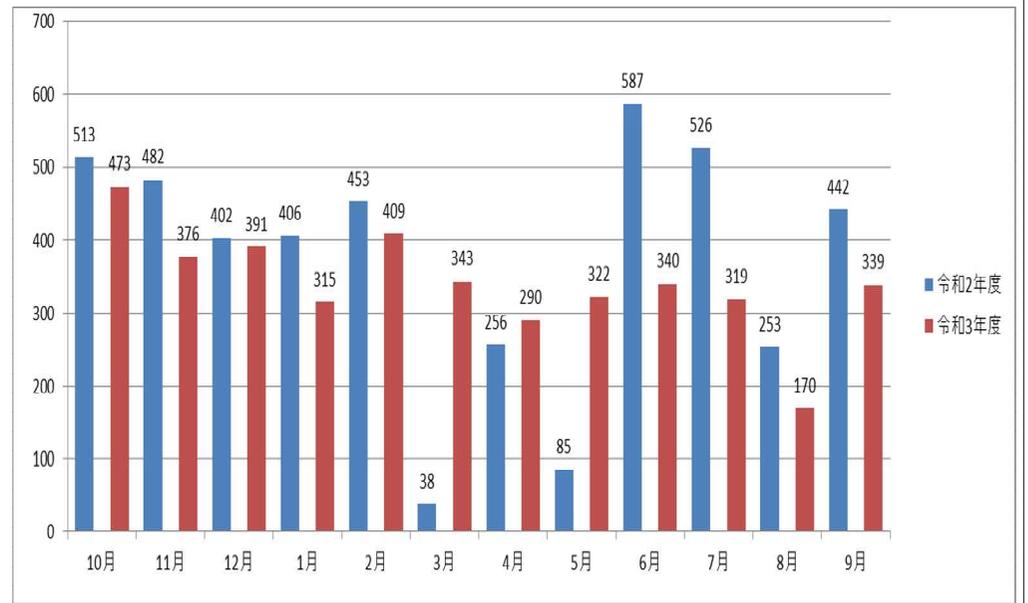
②キウス隆農線(令和3年度1,435人／令和2年度1,147人 対前年+288人)



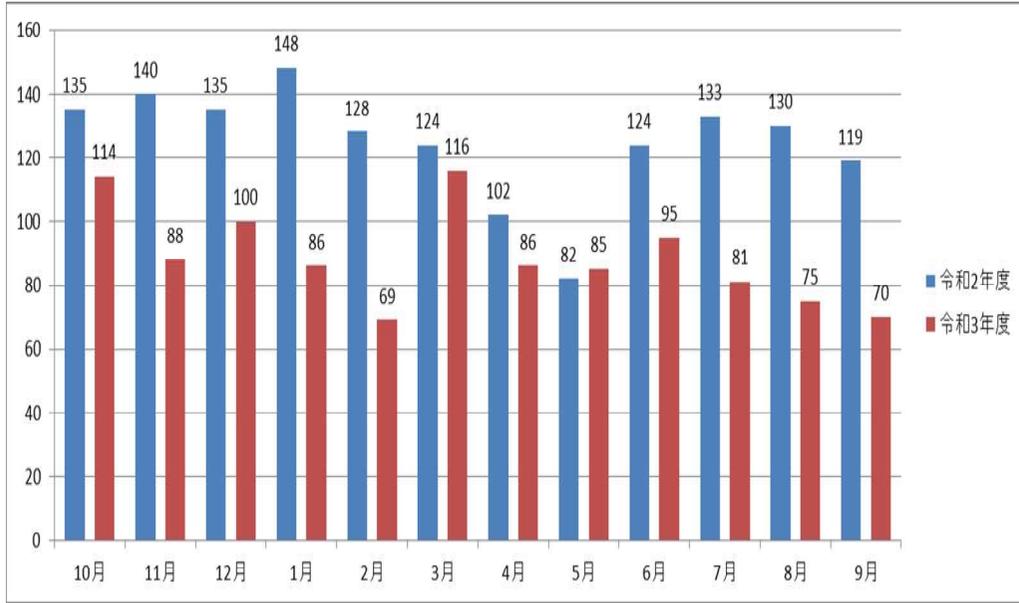
③穂別富内線(令和3年度3,070人／令和2年度2,792人 対前年+278人)



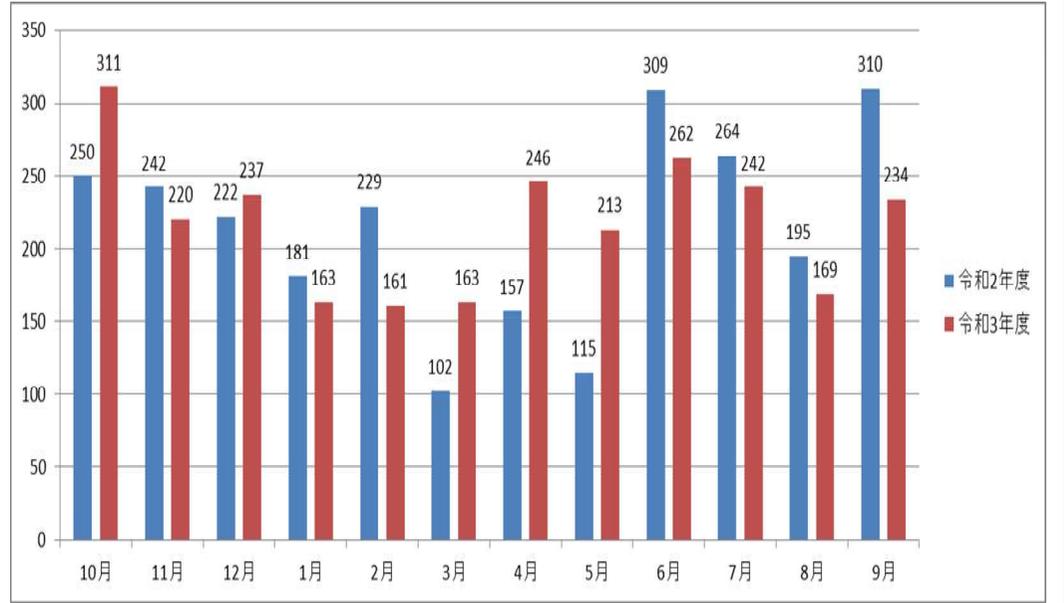
④穂別栄線(令和3年度4,087人／令和2年度4,443人 対前年-356人)



⑤ 鶴川川西線 (令和3年度1,065人 / 令和2年度1,500人 対前年-435人)

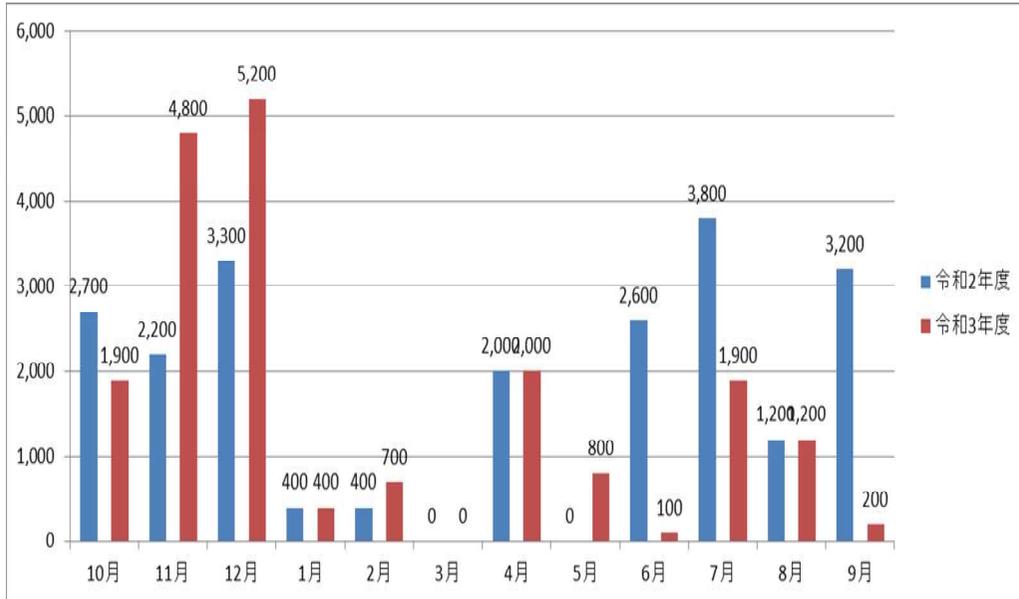


⑥ 鶴川川東線 (令和3年度2,621人 / 令和2年度2,576人 対前年+45人)

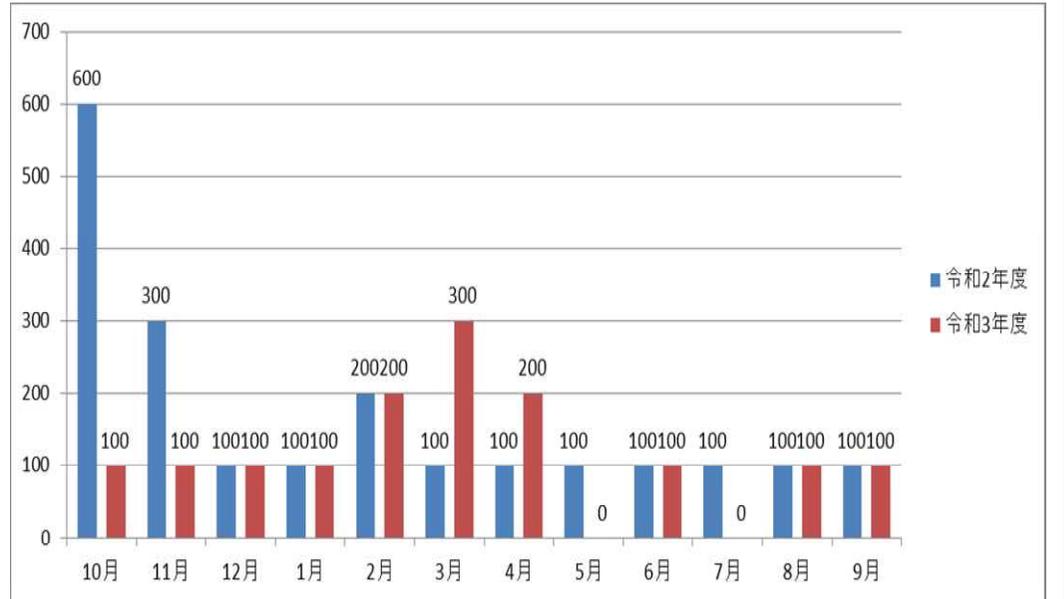


4) 収入実績(円)

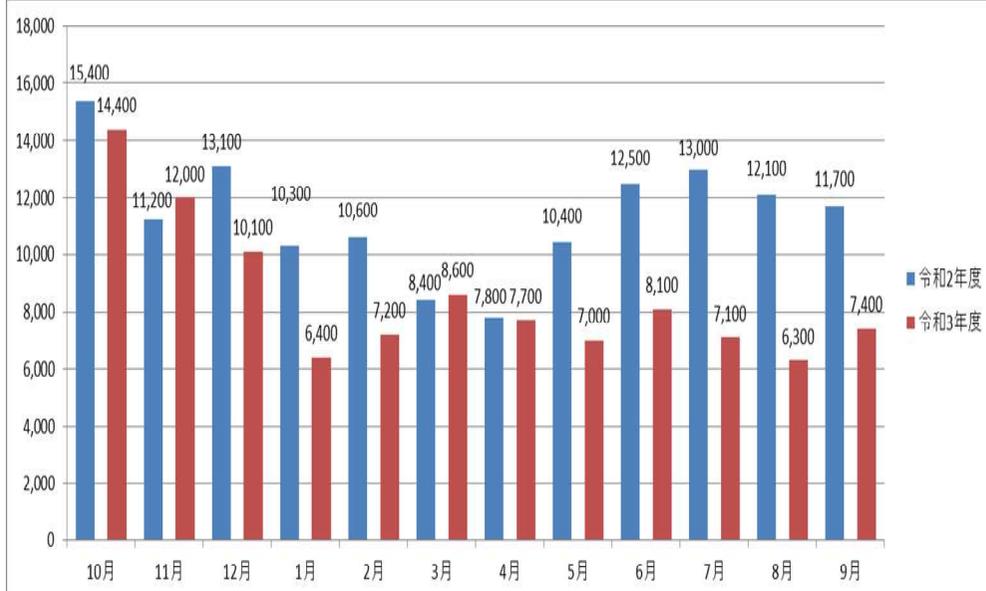
① 穂別稲里線 (令和3年度19,200円 / 令和2年度21,800円 対前年-2,600円)



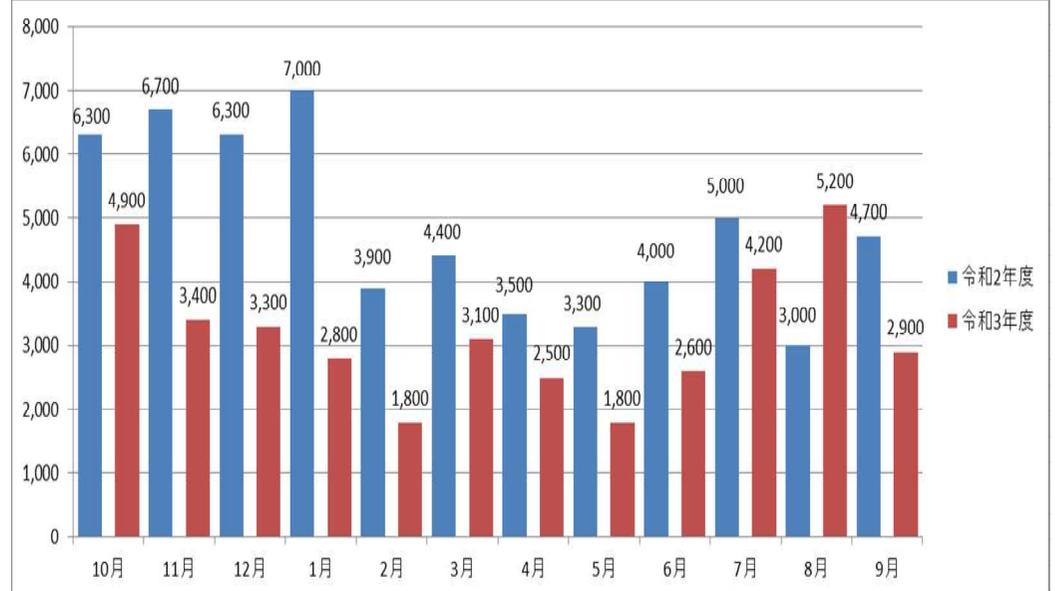
② キウス隆農線 (令和3年度1,400円 / 令和2年度2,000円 対前年-600円)



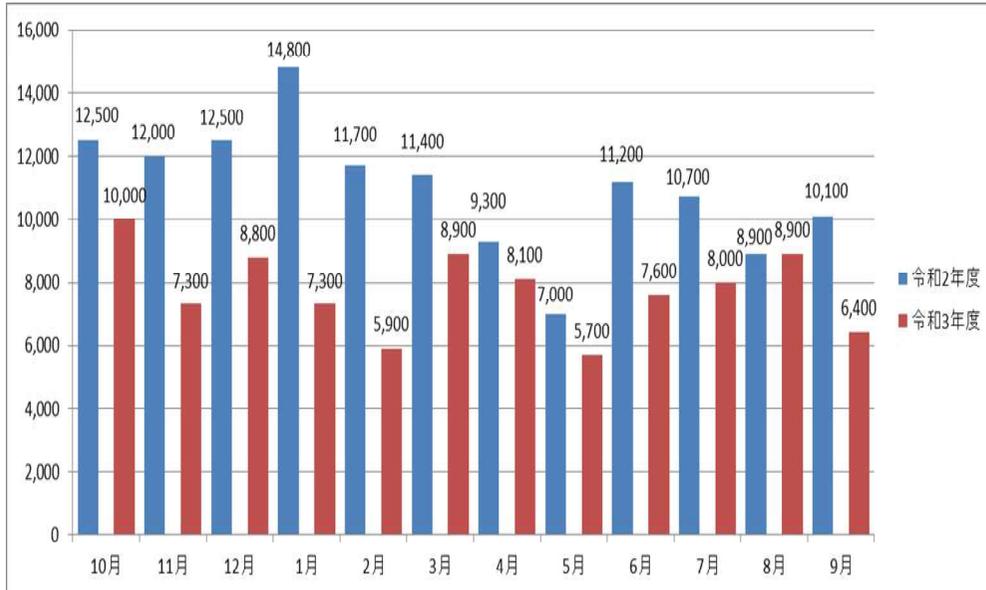
③穂別富内線(令和3年度102,300円／令和2年度136,500円 対前年-34,200円)



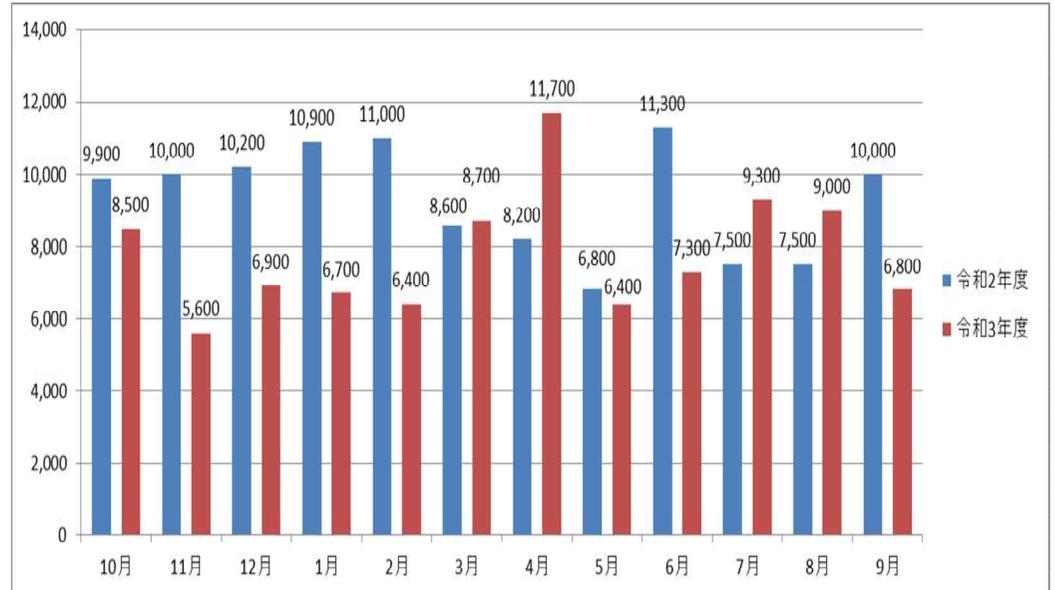
④穂別栄線(令和3年度38,500円／令和2年度58,100円 対前年-19,600円)



⑤鶴川川西線(令和3年度92,900円／令和2年度132,100円 対前年-39,200円)



⑥鶴川川東線(令和3年度93,300円／令和2年度111,900円 対前年-18,600円)



5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は実施され、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響があったが、利用者数は回復傾向となった。

6) 目標・効果達成状況

令和3年度の輸送人員は、

- (1) 穂別稲里線 実績5,246人
- (2) キウス隆農線 実績1,435人
- (3) 穂別富内線 実績3,070人
- (4) 穂別栄線 実績4,087人
- (5) 鷓川川西線 実績1,065人
- (6) 鷓川川東線 実績2,621人

となっており、穂別地区は年間利用者数(目標)15,000人に対して、実績13,838人で92.25%だった。学生・高校生の利用は回復傾向となったが、新型コロナウイルスの影響による移動自粛などにより高齢者や一般の利用が令和2年度より引き続き減少したため収入は減少した。

鷓川地区は年間利用者数(目標)5,000人に対して実績は3,686人で73.72%の達成率だった。穂別地区と同様に学生・高校生の利用は回復傾向だが、高齢者や一般の利用は減ったために収入は減少した。

7) 事業の今後の改善点

■ JR日高本線の一部廃止に伴い、利用者増加と経営状況の改善策を考慮しながら路線の延長や変更、追加を検討していく。

■ むかわ町の事業で町外の一般利用者の増加を見込んだ周知方法を検討していく。

■ 高齢者や児童生徒等の交通弱者に配慮した、町内の交通ネットワークを一体的に編成するための、路線・ダイヤ等の見直しに継続して取り組むことにより、町内外での交流の促進及び利用者の拡大を図る。また、継続的な事業運営を行うため、料金体系の見直し等も検討していく。

■ 冬期間、大型のバスは車内が寒いので、寒さを考慮した車両更新を検討する。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の目標は達成できなかったが、路線バスとスクールバス混乗便の効率化を図るなど、利便性向上の取組を行っており、引き続き、利用者ニーズのくみ上げを行い、更なる利用促進の取組を期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただくとともに、今後も継続的に維持していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。